

地球温暖化防止対策の推進

～二酸化炭素等の排出量の削減～

【重点目標の状況】

■二酸化炭素等温室効果ガス排出量の削減

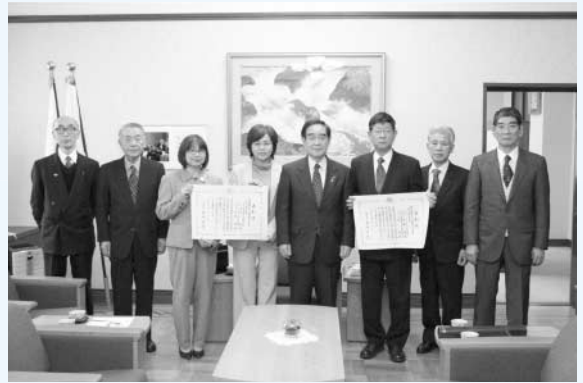
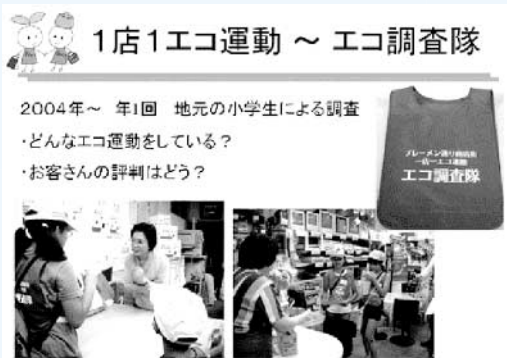
【目標：排出量を1990年レベルに比べ6%削減】

2005年度の市内の温室効果ガスの総排出量は、基準年と比べ4.3%の減少

本市では、2004年3月に改訂した「川崎市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき地球温暖化防止への取組を推進しています。また、夏季の省エネ対策を始めとする様々な実践活動の励行を市民・事業者へ積極的に呼びかけています。

『地球温暖化防止活動環境大臣表彰』受賞

モトスミプレーメン通り商店街振興組合とかわさき地球温暖化対策推進協議会は「『1店1エコ運動』から始めるエコショッピング・タウン川崎の実現」のための取組が評価され、地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞しました。



○1店1エコ運動とは環境にやさしい商店街を目指し、お店が何か1つ環境に優しい取組をすすめるというものです。協議会は地元の小学校と一緒に「エコ調査隊」活動を行うなど商店街と連携して地球温暖化防止活動に取り組んでいます。

2005年度温室効果ガス排出量（速報値：二酸化炭素換算）

	排出量（万トンCO ₂ ）	基準年*増減比較（%）
二酸化炭素（CO ₂ ）	2385.4	4.6
メタン（CH ₄ ）	1.6	31.7
一酸化二窒素（N ₂ O）	26.1	32.7
ハイドロフルオロカーボン類（HFCs）	7.3	-26.1
パーフルオロカーボン類（PFCs）	1.1	-95.7
六ふっ化硫黄（SF ₆ ）	7.2	-96.4

基準年*：二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素は1990年、その他は1995年

市内の二酸化炭素排出量の部門別構成比

産業部門が78.9%と大きな割合を占めていますが、これは、川崎市が京浜工業地帯の中核として、鉄鋼業や化学製品製造業等の産業が集積し、首都圏の生産拠点都市として機能しているという地理的な特性を反映しているものです。

市内の二酸化炭素排出量の部門別構成比

